

骨子案

# やまぐち未来維新プラン

～より高いレベルの安心と成長の実現を目指して～

令和4年(2022年)6月  
山 口 県

# 全体構成

## 第1章 はじめに

- ・ 策定の趣旨、性格と役割、計画期間

## 第2章 山口県の現状を見る

- ・ これまでの取組の成果、本県の人口減少の現状、本県を取り巻く環境、本県の強みと潜在力

## 第3章 県づくりの推進方向

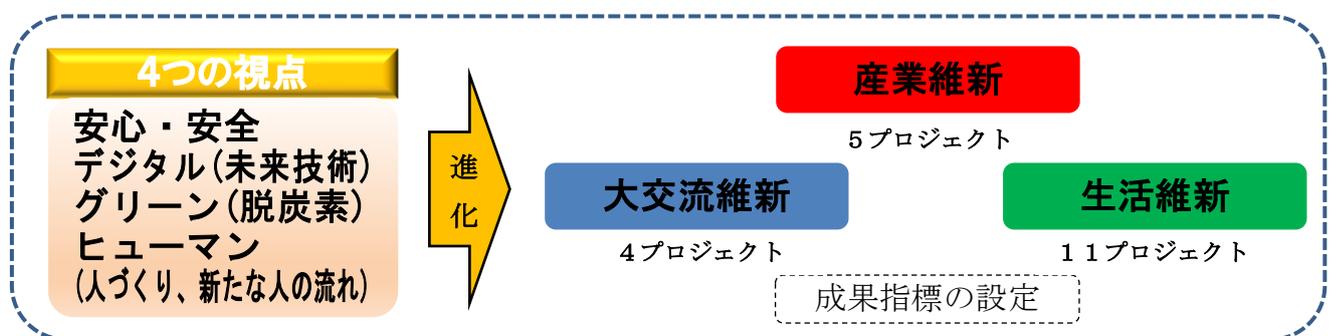
- ・ 県づくりの基本目標、目指すべき将来像、県政推進の基本姿勢

## 第4章 直面するコロナの危機の克服

- ・ 命と健康を守り抜き、経済と暮らしを再生

## 第5章 重点的な施策の推進

- ・ 計画期間で重点的に推進する20の維新プロジェクト



## 第6章 持続可能な行財政基盤の確立

- ・ 収支均衡した行財政基盤の構築

## 第7章 施策の総合的な推進

- ・ 県政の各分野で進める施策の体系化

## 第8章 プランの着実な推進

- ・ 推進体制、進行管理

# 第1章 はじめに

## 1 策定の趣旨

- これまでの県づくりで、目に見える多くの成果を得てきたが、県政の最重要課題である人口減少克服の未だ道半ばにあり、さらに、新型コロナウイルスの感染拡大により、県づくりの取組の一部は足踏みを余儀なくされている。
- 加えて、不安定な国際情勢を背景とする経済安全保障の重要性の高まりや、SDGsの達成に向けても、気候変動問題に対応するための社会経済全体の構造変革等が求められるなど、県政を取り巻く環境は大きく変化している。
- また、コロナ禍は、人々の意識や価値観、働き方に大きな変容を生じさせるとともに、人の流れを大きく変えた。さらに、デジタルの実装を通じ、新たな変革の波を起こすことが求められている。
- まずは何よりも、コロナから県民の命と健康を守り抜き、地域経済・暮らしを再生させ、山口県の元気を取り戻さなければならない。
- そして同時に、こうした環境変化を踏まえ、これまで取り組んできた「3つの維新」をさらに進化させ、自然環境や文化など本県の特徴も活かして、山口ならではの豊かな暮らしの実現を図るなど、コロナ後も見据え、新たな未来に向けた県づくりの取組を力強く前へ進め、これまで以上に安心して希望と活力に満ちた山口県を創っていく必要がある。
- このため、今後の県づくりの指針となる新たな総合計画を策定する。

## 2 性格と役割

- 県政運営の指針として、今後、山口県が進める政策の基本方向をまとめた総合計画とする。
- 本県が目指す県づくりの方向性を、市町、関係団体、企業・大学等、そして、県民の皆様と共有し、共に取り組んでいくための指針となるもの。
- このプランに基づき、スピード感を持って施策を推進し、県民の皆様が安心して、そして、未来に希望を持って暮らせる活力に満ちた山口県の実現に取り組む。

## 3 計画期間

- 2022年度（令和4年度）から2026年度（令和8年度）までの5年間とする。

## 第2章 山口県の現状を見る

### 1 これまでの取組の成果

#### ①産業維新

- ・直近8年間で200件を超える企業誘致と5,000人の新規雇用を創出
- ・成長分野である医療関連分野の産業集積の促進し、医薬品原薬生産額は全国1位を達成
- ・山陰道、小郡萩道路、下関北九州道路など、幹線道路網の整備を促進 等

#### ②大交流維新

- ・観光客数、外国人延べ宿泊者数が過去最高を記録(2018年)
- ・県産品、農林水産物、県内企業の技術等の市場を拡大
- ・直近4年間で本県への移住者数が2倍に増加 等

#### ③生活維新

- ・1人1台タブレット端末を活用した学びの深化や5Gを活用したへき地医療の高度化等、各分野にわたるデジタル改革の取組を全国に先駆けて推進
- ・住民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、広域的な範囲で集落機能や日常生活を支えあう「やまぐち元気生活圏」づくりを推進
- ・河川改修や衛星データの活用による初動対応の迅速化など、ハード・ソフト両面で防災対策を強化 等

### 2 本県の人口減少の現状

1985年以降人口減少が続いており、県の人口が、直近の国勢調査（令和2年）では134万2千人となっている。

この要因として、

- ・20～39歳の女性人口が年々減少しており、加えて、コロナ禍の影響で結婚・出生数が低調に推移している。一方で、全国で3番目の高さとなっている高齢化を背景に、死亡数が出生数を大きく上回って推移している。
- ・若者を中心に、進学や就職を要因とする県外流出が一貫して続いており、特に、男性に比べて女性の流出が大きいことが出生数に大きな影響を及ぼしている。

などが挙げられる。

### 3 本県を取り巻く環境

#### ①新型コロナウイルス感染症の影響

- ・コロナの感染拡大長期化により、県民の命と健康が脅かされるとともに、観光業、飲食業や農林水産業をはじめ、幅広い業種において、事業者の経営状況が大きな影響を受けている。
- ・コロナとの共存を前提とする「新たな日常」の確立に向け、デジタル化を推進する必要性が高まっている。
- ・地方暮らしの良さが改めて認識され、テレワークを通じて地方に居ながら都市部で働くことが可能となったことを背景に、地方移住への関心が一層高まっている。 等

#### ②社会経済情勢の変化

- ・社会経済のグローバル化が進む中で、緊迫する国際情勢などにより、資源・部材の安定供給等の課題が顕在化している。
- ・地球温暖化が進む中で、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取組が求められている。 等

#### ③県民生活

- ・自然災害の頻発化・激甚化や社会インフラの老朽化への対応が急務になっている。
- ・将来の予測が困難な時代にあって、未来を切り拓いていく人材の育成が重要となっている。 等

### 4 本県の強みと潜在力

#### ①産業

- ・基礎素材型産業とそれを支える高度なものづくり技術を有する企業が多数集積しており、成長に向けた技術・製品開発の基盤がある。
- ・優れた産業インフラ、交通アクセス、産業人材、自然環境など、企業の円滑な事業活動を支える環境が整っている。 等

#### ②交流

- ・豊かな自然や歴史・文化など魅力的な観光資源や、海・山の多彩な産品に恵まれている。
- ・地域おこし協力隊の定住率が全国1位になるなど、地域で移住者を支える基盤が充実している。 等

#### ③生活

- ・全国に先駆けて、全ての公立学校におけるコミュニティ・スクールの導入を完了し、1人1台タブレット端末を整備するなど、教育環境が充実している。
- ・「やまぐち元気生活圏づくり」に取り組む地域が大幅に増加するなど、持続可能な地域づくりの取組が進展している 等

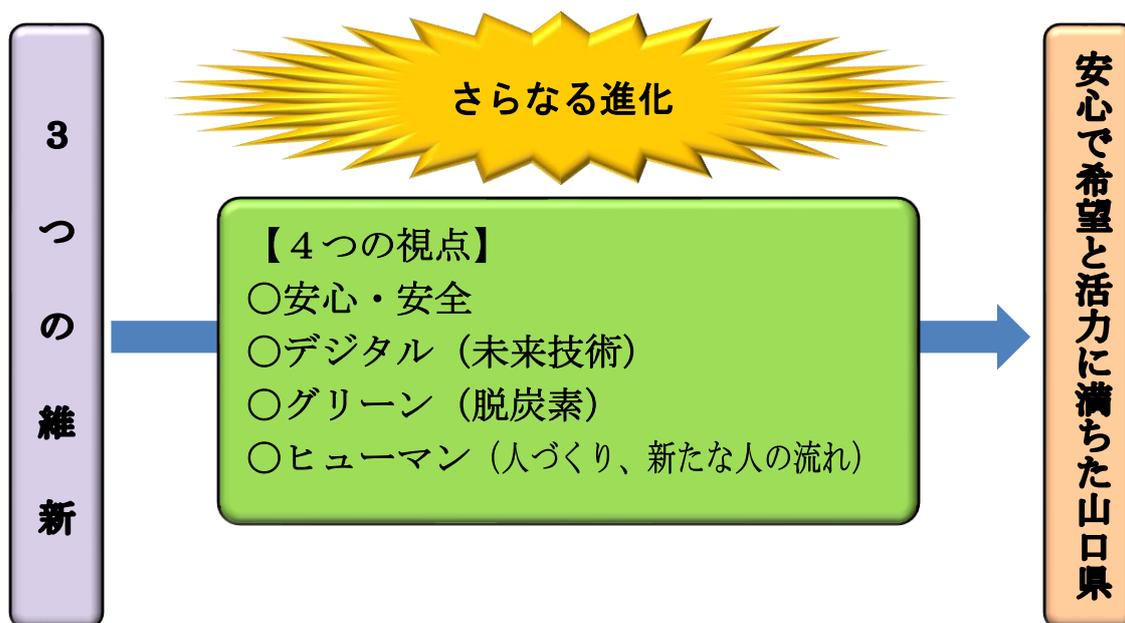
# 第3章 県づくりの推進方向

## 1 県づくりの基本目標

### 「安心して希望と活力に満ちた山口県」の実現

人口減少・少子高齢社会にあっても、活力に満ちた産業や、賑わいに溢れ、安心・安全で持続可能性を備えた地域社会の中で、県民誰もが、山口ならではの豊かさと幸福を感じながら、未来に希望を持って暮らせる「安心して希望と活力に満ちた山口県」の実現を目指す。

**基本方針** 「3つの維新」のさらなる進化



## 4つの視点 「安心・安全」「デジタル」「グリーン」「ヒューマン」



### 安心・安全

新型コロナウイルスとの闘いは、「命と健康を守ることが何よりも重要」であることを改めて認識させた。同時に、コロナは、経済のグローバル化により全世界に広がったサプライチェーンに影響を及ぼし、半導体をはじめとする部品供給の制約が、生産に滞りを生じさせている。さらに、国際競争が激しくなる中で、機微な技術・データ等の獲得に向けた動きが活発化しており、経済安全保障の観点から、その適切な保護を実現していくことが求められている。

また、近年、自然災害が頻発化・激甚化しており、その備えの重要性も高まっている。

加えて、これからも、県民誰もが安心・安全に暮らしていけるよう、地域に密着した安心・安全活動を推進する必要がある。

#### 産業維新

重要物資等の安定供給の確保に向け、本県産業の安定的な操業が可能な環境の構築を進める。

- ・国の取組に呼応したサプライチェーン強靱化の推進
- ・技術流出防止等経済安全保障対策の推進 等

#### 大交流維新

近年、頻発化・激甚化する自然災害に備え、交通ネットワークの多重化等の取組を進める。

- ・交通ネットワークの機能強化 等

#### 生活維新

県民の命と健康、財産を守るため、新興感染症や災害への備えを強化する。

- ・県立総合医療センターの機能強化をはじめとした医療と福祉の更なる充実
- ・防災・減災対策や防犯対策の強化 等

### デジタル（未来技術）

コロナ禍がもたらした社会変革の動きをチャンスと捉え、本県の新たな未来の創造につなげていくためには、デジタルの持つ力を積極的に活用し、その可能性を最大限引き出していくことが重要である。

このため、デジタルの力で本県が抱える様々な課題を解決し、新たな価値を創造して、県民一人ひとりがこれまで以上の豊かさと幸せを実感することができる社会を築き上げていくという考えの下で、全国に先駆けた「やまぐちデジタル改革」を推進している。

国が進める「デジタル田園都市国家構想」にも呼応しながら、改革の3つの柱である、『やまぐちDX』の創出、『デジタル・ガバメントやまぐち』の構築、『デジタル・エリアやまぐち』の形成に沿って、取組をさらに加速し、産業や交流、生活など県政のあらゆる分野でデジタル実装を進めていく必要がある。

### 産業維新

付加価値の向上や労働力の確保に向けて、産業分野のデジタル化を推進する。

- ・ デジタルを活用した生産性の向上や新たなビジネスモデル・サービスの創出
- ・ スマート農林水産業の推進 等

### 大交流維新

コロナ禍による社会変容を踏まえ、「新たな日常」に対応した交流を促進する。

- ・ デジタルを活用した観光客の視点に立った戦略的なプロモーションの展開
- ・ イーコマースへの参入促進 等

### 生活維新

より利便性の高い社会の構築に向け、デジタル化の取組を進める。

- ・ Y-BASEを核とした地域課題解決の取組の推進
- ・ SNS等を活用した子育てへのプッシュ型支援 等

## グリーン（脱炭素）

地球温暖化は、異常気象の頻発化や生態系の不可逆的な変化、熱中症等の健康リスクの増加など、生活に様々な影響を及ぼし始めている。

人類共通の課題である気候変動問題に対応し、将来にわたって持続可能な社会を実現していくためには、脱炭素社会の構築は待ったなしの課題であり、総力を挙げて、これに取り組んでいかなければならない。

また、温暖化への対応を「経済成長の制約やコスト」と一面的に捉えるのではなく、積極的に温暖化対策を行うことが、産業構造や経済社会の変革をもたらし、将来の大きな成長につながるという発想に立ち、今後、効率的・効果的にグリーン（脱炭素）化を進めることで、経済と環境の好循環を創り出していくことが重要となっている。

### 産業維新

2050年カーボンニュートラルの達成と新たな成長の実現に向け、本県の産業特性を踏まえながら、産業分野における構造改革の取組を促進する。

- ・ 脱炭素化に向けた技術開発や企業間協働体制構築への支援
- ・ カーボンニュートラルレポートの形成に向けた取組 等

### 大交流維新

人と自然の共生に向け、環境にやさしい交流の仕組みづくりを進める。

- ・ 本県の豊かな自然を活かしたアウトドアスポーツツーリズムの推進 等

### 生活維新

次代につなげる持続可能な社会の実現に向けた民生分野の取組を促進する。

- ・ カーボンニュートラルを見据えた家庭・事業所等での地域脱炭素化の取組の加速化
- ・ エネルギーの地産地消の推進 等

## ヒューマン（人づくり、新たな人の流れ）

我が国は、今、これまでどこの国も経験したことのない超高齢社会の中にあり、さらに、経済のグローバル化に伴う地球規模での競争激化や目まぐるしく変化する国際情勢、日進月歩で進む技術革新など、従来の延長線上にはない、まさに激動の時代を迎えている。

このような時代にあって、山口県の新たな未来を切り拓き、安心して希望と活力に満ちた社会を実現していくためには、全ての基である「人」を育む取組が重要となる。

何よりも、コロナ禍の影響もあって、想定を上回るスピードで進行している少子化に歯止めをかけるため、結婚から妊娠・出産の希望を叶える支援の更なる充実や、こどもの健やかな成長を社会全体で後押しする取組が必要である。

さらに、人口減少の大きな要因の1つである、若い世代を中心とする社会減への対応として、山口県の魅力を活かして、若者や子育て世代を積極的に呼び込むなど、新たな人の流れの創出・拡大も図っていくことが重要である。

### 産業維新

本県産業の活性化に向け、産業人材の育成と雇用の場づくりの取組を進める。

- ・本県産業の成長を支える人材の確保・育成
- ・デジタル関連企業等の戦略的な誘致の推進 等

### 大交流維新

地方移住への関心の高まりを捉え、若者を中心とする社会減の流れを断ち切る取組を推進する。

- ・地方創生テレワークとワーケーションの一体的推進による新たな人の流れの創出
- ・県内定住の促進 等

### 生活維新

少子化に歯止めをかけ、人口減少社会にあっても活力に満ちた山口県を創造する。

- ・結婚から妊娠・出産の希望を叶える取組の充実・強化
- ・「山口県新たな時代の人づくり推進方針」に基づく取組の推進 等

「4つの視点」を踏まえ「3つの維新」のさらなる進化を目指す。

## 産業維新

山口県の強みを最大限に活かし、山口県の活力の源となる産業力を大きく伸ばす。

- ・カーボンニュートラルにも対応した瀬戸内産業の強化
- ・医療・環境・水素等のエネルギー・バイオ・航空機・宇宙・ヘルスケア・デジタルなど重点成長分野の発展・拡大
- ・デジタル化・イノベーション創出を通じた中堅・中小企業の成長支援
- ・スタートアップ・創業及び事業承継の支援
- ・強い農林水産業の育成
- ・港湾・幹線道路網・工業用水など産業基盤の整備 等

## 大交流維新

山口県の魅力・潜在力を発揮して、新たな人・モノの流れを創出・拡大し、山口県を活性化する大交流を実現する。

- ・地方創生テレワークやワーケーションの促進による都市部からの新たな人の流れの創出や移住・関係人口の拡大
- ・道路網整備など広域的な交通インフラの整備
- ・新たな観光トレンドを取り込んだ戦略的な観光力の強化
- ・大阪・関西万博等の機を捉えた魅力発信
- ・中小企業・農水産物等の海外展開の支援
- ・水産インフラ輸出構想の推進 等

## 生活維新

県民誰もが、豊かさと幸せを感じながら、いつまでも安心して暮らし続けられる山口県の基盤を築く。

- ・医療・介護提供体制の充実・強化
- ・結婚から子育てまでの切れ目のない支援
- ・女性・高齢者・障害者等の活躍促進
- ・暮らしを豊かにするデジタル化の推進
- ・新たな時代に向けた人づくりの推進
- ・「やまぐちスマートスクール構想」のさらなる推進
- ・防災・減災対策の強化
- ・暮らしの安心・安全の確保
- ・気候変動問題に対応した持続可能な社会の構築 等

## 2 目指すべき将来像

「3つの維新」の先に見据える、山口ならではの豊かさに満ちた将来像（概ね10年後）を示す。

## 3 県政推進の基本姿勢

- ・市町、関係団体、企業・大学等、そして県民の力の結集
- ・現場重視・成果重視・スピード重視の3つを基本
- ・活力ある県づくりと強固な財政基盤の双方の実現

## 第4章 直面するコロナの危機の克服

- 令和元年に発生した新型コロナウイルスは、県民の命と健康を大きく脅かし、社会経済活動の低迷をもたらした。
- このため、これまで県・市町や医療関係者をはじめとした関係機関がワンチームとなって、医療提供体制の強化やワクチン接種の推進など、「県民の命と健康を守る」ための取組を進めてきた。
- 同時に、学校教育におけるICT環境の整備など、コロナ禍で生じた様々な課題の解決に努めるとともに、雇用の維持・確保と事業継続への支援、観光や飲食、県産農林水産物の需要喚起等の取組を進めてきた。
- 直面するコロナの危機を克服し、山口県の元気を取り戻すため、次の事項を柱に据え、感染状況のフェーズや社会経済情勢に応じて、適時適切な対策を講じていくこととする。

### ① コロナの危機から県民の命と健康を守り抜く

検査体制や医療提供体制の強化、ワクチン接種の迅速な実施等に万全を尽くし、直面するコロナの危機から県民の命と健康を守り抜き、暮らしの安定を確保する。

### ② コロナで傷んだ経済と暮らしを再生する

事業活動の継続・活性化の支援や大規模な消費需要の喚起に取り組み、長期化するコロナ禍の影響により大きく傷んだ社会経済を力強く再生させる。

# 第5章 重点的な施策の推進

## 20の維新プロジェクト

- 「4つの視点」を踏まえ「3つの維新」をさらに進化させ、本県の強みと潜在力を活かした本県ならではの豊かさを実現するため、重点的に政策を進める20の「維新プロジェクト」を設定
- プランの進捗状況を測るとともに、目指すべき具体的な成果目標として、各プロジェクトごとに「成果指標」を設定

### [ I 産業維新 ]

#### ① 新たな価値を創造する産業DXプロジェクト

デジタル技術を活用した生産性の向上や新たなビジネスモデル・サービスの創出を支援するとともに、今後大きな成長が見込まれるデジタル関連企業の誘致の推進、デジタル社会を担う人材の育成、技術流出防止等経済安全保障対策の推進等の取組を通じて、本県の産業力を大きく伸ばす。

- ・新サービス・新事業創出や生産性向上に向けたI o T等の導入促進
- ・デジタル関連企業・サテライトオフィス等の誘致及びデジタル人材の育成 等

#### ② 未来へ挑戦するグリーン成長プロジェクト

カーボンニュートラルへの対応が喫緊の課題となる中で、今後、産業分野における脱炭素化に向けた取組が円滑に進むよう、総括的にマネジメントを行う体制を構築し、企業の技術開発や企業間の協働体制の構築等を支援するとともに、今後の成長が見込まれる医療、環境・エネルギー、バイオ等の重点成長分野におけるイノベーションの加速化を図り、本県産業の持続的な成長につなげる。

- ・カーボンニュートラルの実現に向けたコンビナート企業間の連携促進やカーボンニュートラルポートの形成に向けた取組の推進
- ・脱炭素社会の実現に貢献する環境・エネルギー関連産業イノベーションの創出 等

#### ③ 時代を勝ち抜く産業力強化プロジェクト

瀬戸内沿岸の企業群を中心とする本県の基幹産業が、厳しさを増す国際競争やカーボンニュートラル社会の実現に向けた構造変革の時代を勝ち抜いていけるよう、競争力強化やサプライチェーンの強靱化に必要な基盤整備を着実に推進するとともに、戦略的に企業誘致を進め、本県の産業力を強化する。

- ・港湾、幹線道路網、工業用水等の産業基盤の整備促進
- ・戦略的な企業誘致の推進 等

#### ④ 中堅・中小企業の「底力」発揮プロジェクト

中堅・中小企業が、デジタル化・グリーン化等の環境変化に的確に対応しながら持続的な成長を実現し、雇用を生み出し続けることができるよう、新たな事業展開や経営革新への取組、ものづくり技術の革新、創業や事業承継、人材の確保・育成などに対する支援を強化する。

- ・地域の経済を支える中堅・中小企業の成長支援
- ・成長を支える産業人材の確保・育成 等

#### ⑤ 強い農林水産業育成プロジェクト

担い手の安定的な確保を図るとともに、生産性の向上や需要拡大に資するデジタル技術の普及・定着、環境負荷の低減に向けた新技術の開発・導入等を進めることで、強い農林水産業を育成する。

- ・農林水産業の成長産業化に向けた生産力の増強
- ・脱炭素化を通じた持続可能な農林水産業の推進 等

## [Ⅱ 大交流維新]

#### ⑥ 交流を拓げる基盤整備プロジェクト

経済の活性化につながる人・モノの流れの拡大を支えるため、MaaS等の取組を通じた空港、新幹線停車駅等を起点とする交通ネットワークの機能強化や、高速道路・国道・県道等の道路網の整備・充実を推進するとともに、海外自治体との交流やグローバル化に対応した多文化共生による地域づくりを進める。

- ・交流を活発化する交通ネットワークの機能強化
- ・広域的な交通インフラの整備促進 等

#### ⑦ 新たな観光県やまぐち創造プロジェクト

コロナ禍によるニーズの変化を捉えた本県ならではのツーリズムの創出や、データに基づく観光地経営の実践に向けた支援、デジタル技術を活用した戦略的プロモーションの展開等を通じて、持続可能で国内外から選ばれる新たな観光県やまぐちを創造する。

- ・ニーズの変化を捉えた本県の特徴を活かしたツーリズムの創出
- ・大阪・関西万博等の開催を見据えた戦略的な観光プロモーションの展開や受入環境の整備促進 等

#### ⑧ 国内外での市場拡大プロジェクト

県産品や農林水産物、県内企業の技術などについて、大きな需要のある大都市圏や海外への売り込みの更なる拡大や、インターネット上でモノやサービスを売買するイーコマースへの参入促進等を支援することを通じて、国内外での市場を拡大する。

- ・大都市圏へのやまぐちの売り込み強化
- ・成長する海外市場への中小企業・農林水産物等の展開 等

## ⑨ 新たな人の流れ創出・拡大プロジェクト

都市部の人口集中リスクの顕在化とテレワークの活用による時間や場所に捉われない働き方の普及を背景とする地方移住への関心の高まりや企業の地方分散の動きを捉え、山口ならではの豊かな暮らしの魅力を活かして、本県への新たな人の流れを創出するとともに、若者や子育て世代を中心とした定住を促進する。

- ・地方創生テレワークとワーケーションの一体的推進による新たな人の流れの創出
- ・県内への就職促進や企業の地方分散の動きに呼応した誘致の推進 等

## [Ⅲ 生活維新]

### ⑩ 結婚、妊娠・出産、子育て応援プロジェクト

若い世代の結婚、妊娠・出産、子育てを社会全体で応援する気運を一層醸成するとともに、SNS等を活用したプッシュ型支援等を通じた、妊娠期から子育て期にわたるまでの一貫した伴走型の支援、不妊治療・周産期医療のさらなる充実等により、少子化に歯止めをかける。

- ・デジタル技術を活用した結婚・子育てを応援する取組の推進
- ・伴走型の包括的な子育て支援の推進 等

### ⑪ 「やまぐち働き方改革」推進プロジェクト

デジタル技術を活用した「新たな働き方」の普及促進を図るとともに、多様で柔軟な働き方が可能な環境づくりを進めることにより、県民誰もが、県内で、希望やライフイベントに応じて働き続けながら、家庭や地域での生活を楽しむことができる社会を実現する。

- ・テレワークをはじめとするデジタル技術を活用した新たな働き方の推進
- ・女性のライフイベントに応じた多様で柔軟な働き方の推進 等

### ⑫ 次代につなげる持続可能な社会づくり推進プロジェクト

地域において、エネルギーの地産地消や省エネ性能に優れた住宅の普及といった暮らしに密着した脱炭素化、人や社会・環境に配慮したエシカル消費への取組、循環型社会の形成の推進など、人と自然が共生する環境にやさしい県づくりを進め、次代につなげる持続可能な社会を実現する。

- ・カーボンニュートラルに向けた暮らしに密着した地域脱炭素化の推進
- ・持続可能な社会を目指した消費行動の促進 等

### ⑬豊かで利便性に優れた暮らしづくり推進プロジェクト

県民誰もがデジタル化の恩恵を享受できるよう、デジタル技術を活用した地域課題解決の取組や行政サービスの利便性向上、情報通信インフラ整備の促進等を図るとともに、生活交通の維持・活性化や、利便性・安全性の高い道路網の整備等を通じて、豊かで利便性に優れた暮らしを実現する。

- ・デジタル技術を活用した地域課題解決の取組の推進
- ・生活交通の維持・活性化 等

### ⑭新たな時代の人づくり推進プロジェクト

新たな時代に向けて、多様な主体が連携を図りながら、ふるさと山口に誇りと愛着を有し、高い「志」と「行動力」をもって、地域や社会の課題を自ら発見、他者と協働しながら解決し、新たな価値を創造できる人材を育成する。

- ・「地域教育力日本一」の取組や「やまぐちスマートスクール構想」の推進など、本県の強みを活かしたきめ細かな教育の充実
- ・山口県立大学の機能強化 等

### ⑮誰もがいきいきと輝く地域社会実現プロジェクト

山口ゆめ花博をはじめとしたこれまでの取組の成果を継承・発展させ、県民活動の更なる活発化を図るとともに、年齢や性別、障害の有無にかかわらず、あらゆる人々の人権が尊重され、県民一人ひとりが持てる力を存分に発揮することができるよう、様々な活動の機会づくりや文化・スポーツの振興等の取組を進め、誰もがいきいきと活躍できる地域社会を実現する。

- ・産学公連携による女性の活躍促進
- ・新たな県民スポーツの拠点整備等によるスポーツの振興 等

### ⑯安心を支える医療と介護の充実・強化プロジェクト

県民誰もが、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、デジタル技術も積極的に活用しながら、適切な医療・介護サービスを提供するとともに、新興感染症の発生等の危機事態にも迅速に対応ができるよう、医療・介護の提供体制の更なる充実・強化を進める。

- ・県全体の医療を支える中核的な役割を担う県立総合医療センターの機能強化
- ・多様で魅力的な通いの場の展開など地域包括ケアシステムの深化 等

### ⑰生涯を通じた健康づくり推進プロジェクト

県民誰もがそれぞれの年代等に応じた健康づくりに積極的に取り組む気運の醸成を図るとともに、健康関連データ等も活用しながら県民一人ひとりの状態に応じた健康サポートを充実すること等により、生涯を通じて健康に暮らし、元気に活躍できる社会を実現する。

- ・各年代に応じた健康づくりの推進
- ・健康への理解と健康行動の促進に向けた健診（検診）の推進 等

## ⑱ 災害に強い県づくり推進プロジェクト

大規模な自然災害等の発生に備え、災害に強い県づくりを進めるため、自主防災組織の活性化をはじめとする自助・共助の取組を促進するとともに、デジタル技術を活用した公共インフラの管理や流域治水の取組を推進するなど、ハード・ソフト両面から防災・減災対策を進める。

- ・ 県民の防災意識や若い世代の防災への関心を一層高める取組の推進
- ・ デジタル技術を活用した公共インフラ老朽化対策の推進 等

## ⑲ 暮らしの安心・安全確保プロジェクト

食や消費生活の安心・安全を確保するとともに、実社会はもとよりサイバー空間も含めて犯罪・暴力や事故を防止する取組を推進し、同時に被害者等の支援の充実も図ることで、県民が安心・安全に暮らせる生活を実現する。

- ・ 食や消費生活の安心・安全の確保
- ・ サイバー犯罪への対処能力の強化やデジタル技術の活用による捜査の高度化 等

## ⑳ 人口減少を克服する地域づくり推進プロジェクト

地域の特性を活かしたコンパクトなまちづくりや地域の活力創出に資するまちづくりを推進するとともに、中山間地域においては、「やまぐち元気生活圏」づくりや、地域の経営力の向上に取り組むなど、人口減少下にあっても活力を維持・創出し続ける持続可能な地域づくりを進める。

- ・ 快適でにぎわいのあるまちづくりの推進
- ・ 地域経営力の向上に向けた取組への重点的な支援 等

## 第6章 持続可能な行財政基盤の確立

将来に希望をもって暮らすことのできる山口県を創っていくためには、収支均衡した行財政基盤の構築が不可欠なことから、効率的な行政運営や財政基盤の強化に取り組む。

## 第7章 施策の総合的な推進

基本目標である「安心して希望と活力に満ちた山口県」の実現を目指し、県政の各分野において、政策の柱である「3つの維新」の下に、あらゆる施策を体系化し、総合的に推進する。

## 第8章 プランの着実な推進

プランに掲げるプロジェクトや重点施策の着実な推進を図るため、外部の知見も活用し、総合的な進行管理を行えるよう推進体制を整える。

進行管理は、各プロジェクトごとに設定した成果指標の達成状況や重点施策の進行状況を把握し、成果の検証を行った上で、必要に応じて施策や事業の改善を図るPDCAサイクルにより進める。